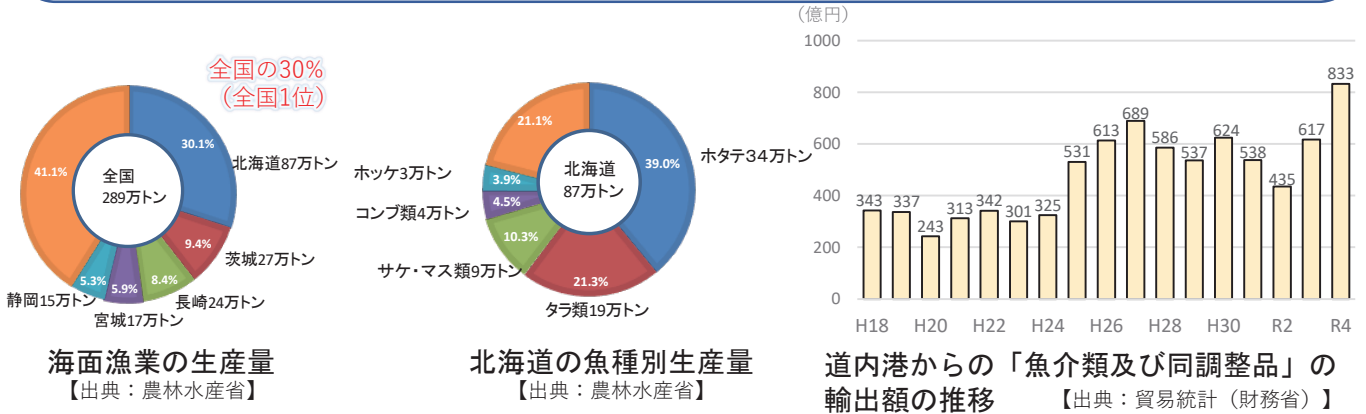


(2) 漁港事業（水産林務部所管）

※建設管理部で事業を実施

① 日本の水産業を支える北海道の漁港

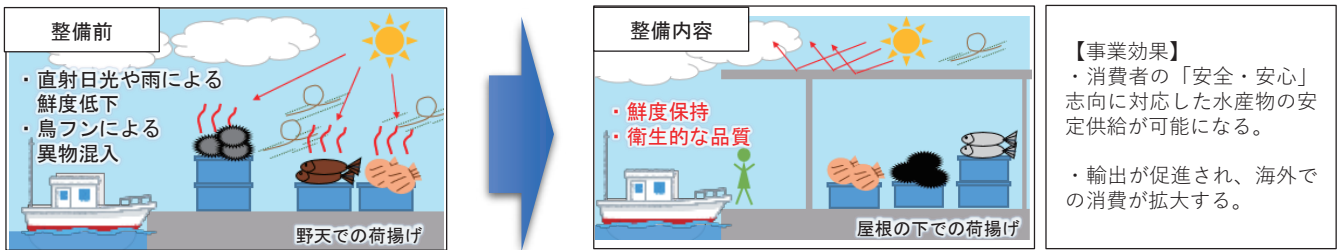
北海道には、漁業活動の拠点として全国最多となる243の漁港（全国の約1割）が配置されており、サケ、ホタテガイをはじめとする漁業生産量は全国の約3割を誇っています。また、「北海道食の輸出拡大戦略」において、国外輸出額1,100億円を目標に掲げ、その実現に向けて「安全かつ良質な水産物」の安定供給を担う漁港整備など、北海道の基幹産業である水産業の健全な発展に寄与する取組を進めています。



② 重点的に取り組む施策

■ 水産業の成長産業化

- 近年の日本食ブームを背景に、道産水産物の世界的な需要の増加が見込まれるため、輸出先国のニーズに対応した衛生的な屋根付き岸壁などの整備を推進します。



令和3年度「全建賞（漁港漁場部門）」授賞！

衛生管理型屋根付き岸壁

整備後

整備の効果（ホタテ 輸出量）

整備前 6,788t（2015～2019年の平均）

整備後 10,721t（完成翌年：2020年）

輸出量が約1.5倍

とことろ 常呂漁港（北見市）

屋根下での荷揚げ（ホタテガイ）

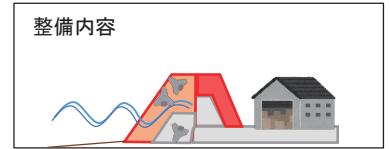
HACCP（ハサップ）認定を取得した加工場

屋根下での荷揚げ（サケ）

国際的に高い評価を得ている高品質の道産ホタテガイ

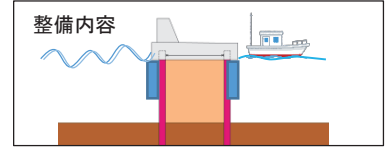
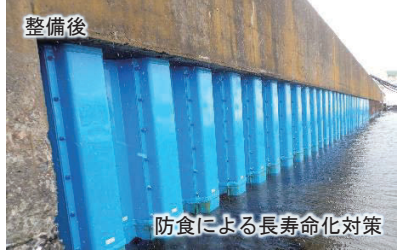
■増大する災害リスクを踏まえた漁港の強靱化

- ・災害リスクに対応した漁港の整備を推進し、水産物の陸揚げ・出荷機能を将来にわたり持続的に発揮させるとともに、救援活動、緊急物資の輸送等の防災機能の強化を図り、地域の安全・安心を確保します。
- ・機能保全計画に基づく、予防保全型の老朽化対策を推進します。
- ・ドローン等のICT技術を施設点検に活用し、管理の効率化・省力化を図ります。



【事業効果】
護岸の高上げにより、水産物の生産拠点を越波による浸水被害から守る。

びや うたすつ 美谷（歌棄）漁港（北美谷地区）（寿都町）

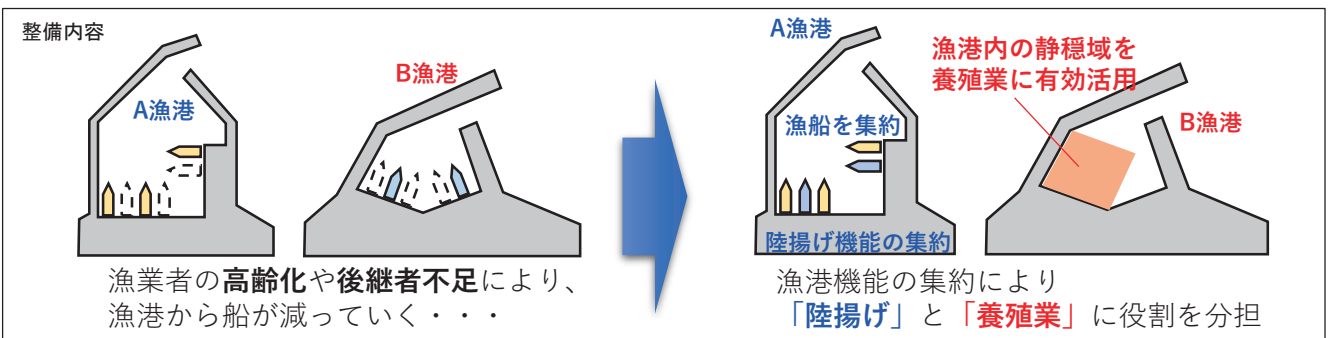


【事業効果】
海水の影響で鋼材に孔食（錆穴）が生じ施設が倒壊しないように、低コストの対策で施設機能の延命を図る。

おとしべ おとしべ 落部漁港（落部地区）（八雲町）

■漁港機能の集約による漁村の活性化

- ・減少傾向にある漁業者の人数に応じた漁港機能の集約を図り、空いたスペースを増養殖の場として有効活用することで、漁業者の所得向上と漁村のにぎわいを生み出します。



漁港の有効活用による効率的な漁業振興（利用の減少した漁港をナマコ蓄養へ活用）

おとべ 第2種 乙部漁港（乙部地区）

海水交換施設整備
水質環境の確保
ボックスカルバート

おとべ 第2種 乙部漁港（元和地区）

ナマコ蓄養エリア
稚ナマコ放流

港外海水を取水

大型のホタテ漁船を移動

ユニフェンス設置
（船外機船は航行可能）

ナマコ育成礁の設置

「第5回インフラメンテナンス大賞」
農林水産大臣賞授賞！



https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/maintenance/03activity/pdf/05_06.pdf

おとべ 乙部漁港（乙部町）